

今

がんばっています

金泉小学校

金泉小学校では、教育目標「希望」「共生」「個性」のもと、「温かい言葉あふれる学校」「やり抜く力のある学校」を合言葉に、子どもたちの自尊心を育む教育に取り組んでいます。

1 花咲山活動

20年以上にわたって金泉小学校が行っている活動です。友達から優しくしてもらった時、友達に優しい行いをした時、優しい行いをした時に花咲山のカードを書いて掲示します。毎年、子どもたちの優しい心の花で掲示がいっぱいになります。



心温まる言葉で埋め尽くす花咲山の掲示

2 地域の方との温かいかかわり

地域の方とかかわる活動の際、子どもたちは地域の方に明るく「こんにちは」とあいさつすること、話をしっかり聞くことを心がけています。

地域の方とかかわる中で、子どもたちのマナーの良さをたくさんの方から褒めていただいています。褒められた子どもは自信を持ち、自尊心を高めます。この取り組みは、さまざまな課題を自ら乗り越えていける原動力になると考えています。



地域のお年寄りと触れ合う「しゃきつと教室」の様子

☎ 学校教育課

☎ 58-7351



世界遺産登録に向けて

鉾山町あいかわ・上町散策⑤

かみまち
上町のみどころ

相川金銀山に近い市街地東側の大工町から佐渡奉行所までの台地上の地域は、「上町」と呼ばれています。上町には、江戸時代初期に鉾山と奉行所をつなぐ主要幹線道路が整備され、職業別に住み分けをした町がつくられました。

上町の町名をみると、京都の西陣織の店があったことから京町と名付けられたといわれている上京町・中京町・下京町、有力な山師が住んでいた新五郎町・夕白町、食品などを販売する商人が住んでいた米屋町・味噌屋町などさまざまな町名が残されていることがわかります。

台地上にある上町は傾斜地が多く、このような場所に家を建てるために、土地を平らに造成し、斜面が崩れないよう石垣を築きました。このため、傾斜地にもたくさんのお家の宅地が造り出され、多くの人々が生活できるようになりました。

このように上町は、江戸時代から鉾山町の中心部となり、近代まで多くの鉾山関係者が暮らしていたのです。

☎ 世界遺産推進課

☎ 63-5136



現在の上町の様子